

1 児童の現状分析

すすんで挨拶ができる児童が多い。授業では、タブレット型パソコンを使うことや友達と一緒に活動することに意欲的である。しかし、分からないことがあったときに、質問をすることができないなどの課題がある。

2 各教科等における授業改善の視点

授業改善の視点	
国語	○漢字小テストで間違えた字を繰り返し練習する時間を確保したり、「eboard」を活用したりして漢字の定着を図る。文学的な文章を読む際に、児童が叙述に沿って自分の考えをもち、対話を通して読みを深めることができるようにする。
社会	○社会の出来事に対して、社会的な見方・考え方を働かせながら主体的に学習に取り組めるように、調べ学習の時間を十分に確保する。また、得た知識を基に、対話活動を取り入れながら自分の考えを表現できる力を養う。
算数	○3けた×3けたの筆算や割り算の筆算での計算ミスが多かったため、繰り返し練習する時間を取ることで確実に計算できるようにする。また、間違えたところを見付け、計算し直す習慣を付ける。話し合い活動を通して、思考が深まったり多様な考えに気付いたりできるように、ICTを効果的に活用する。
理科	○理科室での実験を見据え、安全に器具を操作し、正しく実験を行うことができるように指導する。単元での学習が、日常に結び付けられるように、教師側が何度もその視点を投げかけたり、いくつか具体例を示したりすることで、児童の中に日常への視点を育てる。
音楽	○リコーダーの基礎から発展させ、音色や高音（サミング）奏法を身に付ける学習をする。タブレット型パソコンを使用して、簡単な曲作り（リズム、音の重なり合いなど）をしながら個々の創意工夫を図る。
図画工作	○今後もいろいろな材料や道具を扱う体験を増やし、安全に気を付けて制作できるようにする。友達同士の対話の時間を設定し、自分のイメージや感じたことを深められるようにする。タブレット型パソコンを利用して、鑑賞活動も充実させる。
体育	○陸上や器械運動の領域では、児童が自分の体力に合った練習方法を選択できるように、場づくりを工夫する。また、タブレット型パソコンでフォームを撮影し、確認できるようにする。ボール運動や体づくり運動の領域では、ホワイトボードを活用して作戦を考えて話し合う時間を設定する。
外国語	○毎時間デジタル教科書を活用したり、友達と対話的活動に取り組ませたりすることで外国語の表現や音声に慣れ親しませる。調べ学習や英語ビンゴゲーム等を行う際にタブレット型パソコンを活用させ、個別最適化された学びを実現する。
道徳	○対話的な活動を通して、自分の考えや友達のことを統合したり、比較したりして、多様な価値観を認め合える時間を確保する。また、授業を通して学んだことを基に自らの生き方について考えを深められるようにする。
総合	○児童が自分事として課題を設定し、友達と意見を出し合ったり、検討したりして互いの考えを深めることができるようにする。また、タブレット型パソコンやホワイトボードを活用し、収集・整理・分析した情報や自分の考えを効果的に表現できるようにする。